



今週のプログラム

- 第2777回 (6/14)
- 会場 サフィールホテル 稚内

*親睦旅行

(北海道方面・利尻島・礼文等・稚内)

次回のプログラム

- 第2778回 (6/21)
- 会場 高尾ピアマウント

*移動例会

高尾ピアマウント

退学のほかに転学というのがあります。学校にいられなくて次の学校に行く、普通は通信制に行ったりするんですけども、実は転学しても必ず卒業できていないという未卒の状態になってしまっているということなので、転学者の数プラス退学者の数を合わせていかなないと、本当にどれくらい卒業できないのかというのとはわかんないと思うんです。

私がかたわったのが、転学と退学を合わせた、転退学これができるだけゼロに近づけていく、ということをやってきました。秋留台高校は11年いたんですけど、1年間に140人、学校からいなくなるという状態です。学校のルールなどを変えながら、大体30名ぐらいまでのところに押さえられることができるようになって、拓真高校へ移りました。ちょうど



ぼうず教育実践研究所
代表 磯村元信様

卓話「人口減少時代の学校教育」

2024年5月31日(金)

どそのときコロナの前になるんですけども拓真高校は定時制、三部制で朝昼晩ということでもともとチャレンジクラスという不登校の方を入学させているところもあって、その当時の転退学が大体100名を超えていて、さらにそれは別に不登校が200名ぐらいいる状況でした。私は3年間いたんですけど、いろんな支援をしながらなんとか半分の数まで持っていきました。今、65歳で再任で羽村高校に行ったんですが、羽村高校は倍率が出なくて定員割れしています。つまり全入の状態なんですけども、私が行ったその年になんと1年間で90人辞めたんです。当時のエピソードを一つをお話すると、もう教室にも入っていないし、授業も聞く状況じゃなくて中学行っていない子もいるんです。帰りには羽村駅にたむろして駅前のロータリーで20人近くが大騒ぎして、私が指導に入りました。そうしたらバトカーが5台ぐらいきました。高年齢者が高校生に囲まれてるという通報が入ったそうで、そんなこともありました。

辞めた子たちが一体どうなのかっていうところなんです。つい最近、暴れて一学期で辞めた生徒が一人は殺人未遂で捕まっています。もう一人は学校を辞めた後、私のところに

来て話をしたときに「先生、車の助手席に2日乗ってれば100万だよ」と言うんですね。何か今ニュースで思い浮かぶようなことが皆さんあるんじゃないかと思うんですけども、これがやっぱある意味、ドロップアウトした子どもたちの現実です。

不登校の数はコロナ禍の後、小学校から高校までの全部合わせても30万人を超えている。高校から大人まで含めた引きこもりの数は146万人に達しています。そして一番心配なところですけども、犯罪が20年ぶりに60万と増加に転じている。たぶんどんどん増えていく、そういう可能性ががあります。日常のニュースで僕もすごく気になってしまってますけども、闇バイトなどSNSで指令している人は、学校を辞めたりした子どもたちを戦力に犯罪を起こすという状況になっていて、先ほどお話ししたように私の身近でもそういうことが普通にあります。

もう一つ、無差別殺人などは一人暮らしとか無職とか非正規とか孤立しているような状態で、もうこの社会は自分が生きるに値しないみたいなの、そういう思いから道連れではないんですけど周りで巻き込んでいってしまう。やっぱり犯罪心理学者が言うような安定した職につかせる以外にないんだっていうよう

なお話です。

今私も地域のこういう会合だとかそういうところに行かせてもらって、とにかく子どもたちを社会につなげていく。これはやつていかなきゃいけないなと思っています。

何でこんなにドロップアウトするようになったのかっていうことなんですけども、ずっと歴史的に見ていくと、明治時代から一気に人口が増えて今は下降線の状況に入ってきてると、学校教育ができたのが明治で、人口が急増するときに学校教育っていうのが作られていて、その当時は工業化ということで、欧米に追いつけ、追い越せっていうことで、画一的な教育っていうのが確立していき、競争と選抜っていうのは中心になっていった。あの頃受験競争っていう言葉があったと思うんですけど、学校で何か教えるっていうよりは、とにかく競争に勝つために予備校行ったり、そういうような二浪三浪当たり前というような、時代で、基本的に選抜適格者主義というような、そういう中で教育が行われていて、何か学ぶことに面白さとかさういったことを、二の次にしてきたんじゃないのかなっていうような思いがあります。

今私が思うのは、今まである学校のルールとかさういうものをやっぱり、ここでゲームチェンジしていかないといけないんじゃないのかなということなんです。適格者主義っていうのは、60年

前に文科省が「高校教育を受けるに足る適格者のみが高校に進学を許される」という通知を出しています。このときはまだ高校に行くのは67%で3割は就職をしていました。でも現在はもう99%が高校に行くところ。ここに来て、60年前の考えが、学校の内規と校内の規定とか、あるいは先生たちの意識の中にある。これを変えていくのが、本当に大変なんです。一つの例を出すと、これはよくある図なんです。子どもたちがいて、向こう側で例えば野球をやっている、一番左側の子は塀があるから向こうで何をやっているかわからないわけ。で、向こう側が野球じゃなく、これが授業だったらどうなのか。ということがですね。一番右側の背の高い確者が向こうでやつてるとはわかるけれども、一番左側の子はその授業の中心すらもわからない状況で、毎日学校に通っている、これでドロップアウトしないわけがない。じゃあ下駄を履かせましょう。言うんで、履かせろ。これがやっぱりよくある学校の平等性についてか、あの子だけ高い台を乗せるのは不平等だという。ということになつてしまう。でも実際には一番右側の図のように、その子どもたちに合う高さの下駄を履かせてその授業とかそういうものを受けていく。と、多分半分の子も

はドロップアウトしてしまふんじゃないか、ということ。これがやはり現実の現場に行くと非常に難しいところで、中堅・進学校はそれなりに学力がありますからこういう問題は起きないんですけれども、真ん中から下の、特に都立の倍率が出ない誰でも入ってくる状態になってくるところはどんどんドロップアウトしてしまうという。危険な状況にあるということです。最後に今、若い人たちが多くなつて、コンプライアンスとガバナンスの時代に入ってきてますから、ルールどおりやるのが正しい。これは「清規（せいぎ）」っていう言葉ですね。正しくルールどおりやるっていう言葉です。これが今世の中の普通というかそういう考えになつてますけれども、「陋規（ろうき）」簡単に言うとな、喧嘩は一対一でやるとかです。ね。刃物を使わないとか、弱いものとやらないとか、やはり子ども



たちにとつて何かしてしまったときに、でも卑怯なことではしなかつたとか、そういうことをしつかりと見極めていく。こういう部分が本当に弱くなつています。それは暴力だろうとか、先生たちもみんなそういうところで縛られてしまふんですけども、何かやっぱ幅を持たせていくルールとかそういうものに、あるいはその子どもたちの例えはヤングケアラードとかそういう子どもにはやはりそういうものを配慮していかとか、そういうものをしつかりと持つていかなければいけません。教育が成り立っていないんじゃないのかと思つてます。陋規を学校の中に入れるのは、例えば喧嘩したときによく一対一でやつてお前偉いっていうふうな言ふと、それは暴力を認めるとかそんな話になりがちなんですけれども、何かそういうものを持つていかなければ、なかなか今の多様な環境の子どもたちを支えていくことが本当に難しくなるのかな、と思つております。

例会報告

第2775回●2024.5.31(金)

◇司会 平沼北斗会場監督補佐



司会 / 平沼会場監督補佐

◇開会点鐘 神辺和幸会長

◇Rソング それでこそロータリーお客様のご紹介

◇食事と交歓 和食

◇出席報告・ニコニコ発表

大田吉彦出席・財務委員



出席報告・ニコニコ発表 / 大田出席・財務委員

◇出席率 115名中66名出席

◇出席率 61・11%。前々回5月17日の出席率 47・17%を62・26%に修正いたしました。

◇会長挨拶 神辺和幸会長



会長挨拶 / 神辺和幸会長

*今日はスマートフォンの話をしたいと思ひます。今ではたくさんの方がお持ちのスマホですが、2010年にはわずか4%の方しか持つておらず、2015年にはなんと50%程になったそうです。わずか10年前には約半数の人しか持つていなかったのですが、昨年には97%まで普及しています。時代の進化を感じさせられます。

*最近LINEの乗っ取りのニュースを見ました。知っている人の名前で「うちのワンちゃんが

コンテストに出ているのでニコニコをクリックして応援をよろしく」のような「LINE」を受けた人がクリックすると、いろいろな情報が第三者に伝わつてしまふという内容でした。このように新しい犯罪が次から次へと出現していますので皆さまどうぞお気を付けただければと思ひます。

*何年か後にはJRの切符は磁気ではなくQRコードになるようです。そうするとスマホをお持ちではなかったり、あまり慣れていなかったりすると、いろいろと大変な場面もあるのかなと不安になります。私も乗り遅れないようにしたいと思つております。

*6月は国際ロータリー的には親睦月間です。2023年24年度も残すところあと1ヶ月になります。先程の山口副会長のニコニコにもありましたように、後ろから追いかけるような感じですが、更に親睦を深めて次年度に繋げていきたいです。

*本日は、磯村様の卓話を楽しみにしております。

◇幹事報告 市川 隆幹事



幹事報告 / 市川隆幹事

*先日八王子5クラブの6月予定表を配信いたしましたので



ご確認をお願いいたします。
*6月から9月まではクールビズ期間になります。期間中はノーネクタイでかまいませんので、よろしくお願いたします。
*親睦旅行にご参加の方には参加費納入のお知らせを後日配信予定ですのでよろしくお願いたします。

*本日メールボックスにウィークリー第17号を配付いたしましたのでご確認をお願いいたします。

◆委員会報告

田村肇プログラム奉仕委員長
◆スピーカー紹介
塩野副幹事



スピーカー紹介
塩野副幹事

スピーカー ぼうず教育実践
研究所代表 磯村元信氏
テーマ

「人口減少時代の学校教育」
◆スピーカーへの謝礼贈呈

◆国際大会報告 岡本信之会員



国際大会報告
岡本信之会員

◆閉会点鐘 神辺和幸会長

◆2024.5.31(金) ニニコボックス

◆神辺会長・本日の卓話、ぼうず教育実践研究所代表磯村元信様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆市川幹事・磯村元信様、本日は宜しくお願い致します。

◆野口・昨日、東京都宅建政治連盟の会長に就任致しましたので。

◆相川・後輩の卓話楽しみです。
◆山口・次年度が近づきました。本年度に続き宜しくお願い致します。

◆大田・磯村元信先生の卓話楽しみにしています。
◆田村・磯村先生の卓話、楽しみにしています。本日はよろしくお願い致します。

◆塩野・本日の磯村先生の卓話、楽しみにしています。

◆2024.6.7(金) ニニコボックス

た。紺野会員のイニシエーション楽しみにしております。
◆市川幹事・紺野会員イニシエーションスピーチ楽しみです。又、今夜は竹亭でお世話になります。宜しくお願い致します。
◆村内・今日が94歳の誕生日です。いつも皆さんからの「思いやりの言葉」が励みになっております。ありがとうございます。
◆久保・三祝ありがとうございました。株式会社母の手(サ高住)四棟目天文館大楽寺7月15日オープン。安価で素晴らしい介護提供。ロータリー仲間お祝の花頂きます。誠にありがとうございます。
◆三浦・おかげ様で金婚式を迎える事ができました。
◆紺野・今年で60才！イニシエーションスピーチがんばります。
◆檉嶋博・紺野会員の卓話楽しみにしています。
◆黒須・紺野さんのスピーチ楽しみにしています。
◆安藤謙一郎・紺野会員イニシエーション楽しみにしております。
◆檉嶋雅彦・紺野会員のイニシエーションスピーチ楽しみにしております。
◆塚本・本日の紺野会員のイニシエーション楽しみにしています！
◆関・誕生日お祝いありがとうございます。

◆鈴木卓・誕生日のお祝いを頂けるとのことでありがとうございます。紺野さんのイニシエーションスピーチ楽しみにしています。
◆山口・紺野会員のスピーチを楽しみにしています。
◆池田・誕生日のお祝いをいただきます。ありがとうございます。
◆小松・紺野会員のイニシエーションスピーチ楽しみにしております。
◆加藤・本日妻の誕生日プレゼントを頂きます。紺野会員のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。
◆福田・紺野会員のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。
◆山本俊明・結婚祝いをいただきます。いつもありがとうございます。
◆渡辺範義・本日、結婚記念日のお祝いをいただきます。
◆井上・誕生日のお祝いありがとうございます。
◆坂下・本日、三祝にて誕生日をいただきますので。
◆羽山・紺野さんスピーチ楽しみにしております。
◆梅田・妻の誕生日、結婚祝いを頂きます。ありがとうございます。
◆高橋由美子・結婚祝のお花と誕生日のプレゼントありがとうございます。
(順不同・会員敬称略)

Initiation Speech

紺野 俊也会員

2024年6月7日(金)

Konno Toshiya
紺野 俊也飲食業
株式会社うかい
代表取締役社長
2023年10月入会 社会奉仕委員会

みなさんこんにちは。改めて自己紹介させていただきます。

昨年10月に檜崎バスト会長のご推薦で皆様にご承認いただき、東京八王子西ロータリークラブの会員になりました株式会社うかひの紺野俊也です。その時にも申し上げましたが、それまではうかひでの役割的に八王子の事をほとんど知らなかったものの、このロータリークラブにも入会させて頂き、例会にもあまり出席できませんが、本日このような機会をいただき感謝申し上げます。入会後半年が経ち、新会員歓迎会の時にも申し上げましたが、神辺会長をはじめ

めたくさんの方々にうかひにご予約をいただき、檜崎バスト会長、黒須名誉会員にはいつも気にかけてもらい、八王子におけるうかひの存在意義を感じた半年でした。

ですので、今日はいかひの事をたつぷりとお話したいところですが、せつかくの機会ですから私自身を知っていただくためにプレゼンさせていただきます。

学生時代

出身地は横浜で1964年辰年の年男。還暦です。幼少期は野球に明け暮れ、監督である父親の厳しい指導の下、小学校では1、2を争うくらいまで腕をあげていきました。

しかし中学校にあがると野球部は100人もいて、まるで甲子園を目指す有名高校のようだったと今になって思います。自分たちの代までは毎日走ってばかり。3年生になりなんとか準レギュラーになったものの、神奈川県大会の決勝で敗れてしまい、中学卒業後は、野球の事を第一に考えず、普通高校に進学し、大学に行こうと考えました。彼らと競って甲子園を目指す覚悟はなかったし、少年野球に明け暮れプロ野球選手を夢見たのは過去のこと、と中学3年生で初めての挫折を味わい

ました。

その後高校に進学すると、私はなんとなく高校野球を続けてはいましたが、料理屋でバイトをし、ギターを買ってバンドを組むなど楽しい学生生活を送っていました。そんななか、中学の同級生達は次々に7人も甲子園に出場しましたね。目的を持った人とただ楽しく過ごした人の違いはすぐさまやってきました。

大学進学をあきらめ、私は進路に某電鉄会社の就職を希望しましたが、学内選考で落とされ受験すらできませんでした。ならばコックにでもなろうと、有名ホテルを2つ受験しましたが、両方とも落ちました。しつかりとした目的や夢もない奴が受かる訳ないですよ。ここで2度目の挫折を味わいました。

料理界の東大へ

でも、ここで終われないと進学を決めます。「僕は料理界の東大に行く」というキャッチコピーの大阪あべの辻調理師専門学校です。友達関係を含め、これまでのをシャットアウトして、集中して、どうせやるなら日本一の学校で1番になるという目的を持って突っ走っていく！そんな決意で大阪に向かいました。ひとクラス200人もいるマンモス校でしたが、皆勤賞、ノー

ト整理優秀賞、卒業料理展優秀賞と様々な賞をいただき、まるで高校までとは全く違う自分に生まれ変わったような気がしました。高校の担任の先生方からは「信じられない、あの紺野が！」と驚かれました。

その後社会に出て、フランス料理店での修行が始まりましたが、出会う先輩方に恵まれ、本場フランスへ修行に行く事ができ、料理人として約10年社会にもまれ、1991年うかひに中途採用されて入社しました。当時はうかひ鳥山、うかひ竹亭、八王子うかひ亭、横浜うかひ亭の4店舗が切磋琢磨してやっていたように覚えていきます。その中の横浜うかひ亭で働くことになりましたが、私にとっては、鉄板焼きは初めてであり、お店は連日数百人のお客様が来店する！それはそれは、えらいところに来てしまったと最初は思いましたが、創業者である鵜飼貞男さんとの出会いが私の人生を大きく変えていったのは間違いありません。

鵜飼貞男さんとの出会い

今から28年ほど前の32歳の時、横浜うかひ亭の料理長に抜擢されましたが、側近の部下は皆年上(笑)。若気の至りと言いますか、俺の言う事が聞けな

いならいらない！とさえ思っていました。それでも料理長としての責任感は強かったので、休みもとらず料理に向き合い、次々と料理を一新していくと、お客様を持つている先輩方も認めてくれるようになり、次は何ができていいのかと楽しみにしてくれて信頼関係も構築されていきました。その極め付けが鵜飼貞男さんだと思えます。料理長になって初めての試食会のことです。私には、どうしてもいつもと違った、これぞという魚を使いたいという強い思いがあり、食材を探しに水産仲卸に出向いたとき、カマスを見つけた。そのカマスの生身は驚くほど身が立ち、引き締まっていたので、これだと直感で、試食会に使うことに決めました。当時のうかひ亭では、鯛や平目など高級魚を使用するのが当たり前。干物といった庶民的なイメージが付きやすいカマスを使うことは、うかひの料理を知る人にとってはあり得ないことでした。当然「うかひ亭でカマスなんて！」と社内では反対の声が多くあがりましたが、それでも私は自分の考えを曲げません。どうしたら食べられるに楽しんでもらえるか、うかひの料理として仕上げられるか試行錯誤を重ね、その結果、本番では貞男さんを筆頭に大絶賛。

自分の考えを貫いたものが、こんなに賞賛されたことはとても嬉しく、達成感でいっぱいでした。今でもカマスは調理方法が変わっても、うかい亭のコース料理に取り入れられたりしています。そしてそれからのことある度に、貞男さんから「何か美味しい物はないか」と言われるようになり、私も貞男さんに喜んで欲しくて料理についてより一層考えるようになりました。

その後、37歳の時、洋食事業部の総料理長になりました。当時はまだ和食と洋食の垣根が非常に高く、お互いが敵対心を持っているような状況でした。非常に苦労はしましたが、なんとか和洋の交流を図り、和食・洋食にとらわれない「うかいの料理」の開発に没頭しました。2003年銀座うかい亭オープン時には、ある雑誌の店舗紹介で、提供料理を「うかい料理」と表現していただき、唯一無二の「うかい料理」という料理が確立されたことに、貞男さんと共に大変喜んだ思い出があります。

それ以降、新店舗が増えていくにつれ、私の仕事はうかいの料理を開発することから、うかいの人材を開発することにシフトしていききました。「人を育てる事」で重要視したことは、かつて上司が私にしてくれたように、自分も人を引き上げていくこと。当時私を引き上げてくれる上司がいたからこそ、今の私が

あります。若手がいくら一人で頑張っても、それを認めてくれる上司がいなければ成長にはつながりません。私はそれぞれの人の適性をしっかりと見定め、これはと思う人を次々に店長、料理長として抜擢していききました。その当時の店長、料理長たちの中には、今では経営を助けてくれるまでになった者もいます。

そして次に託されたのが、事業の発展。私は海外・物販事業部の立ち上げのほか、「Kappou Ebi」「ブラッスリーうかい」といった今までに無かった新しいうかいブランドの開発や多くのプロジェクトを手がけました。これら多くのチャレンジにより、事業規模は拡大し、会社として得たものはたくさんあったと感じました。

代表取締役社長に就任

それから2021年6月に、代表取締役社長になりました。社長になった当時は、まさにコロナ禍の真っただ中であり、世間では営業自粛や時短営業要請など、飲食業界にとってもすごい逆風が吹いていた時でした。これ以上ないくらい逆境でのスタートだったこともあり、まずは現状をしっかりと見つめなおし、足元をしっかりと固めることに注力しました。貞男さんをはじめ、先輩が作り上げてきた会社を未来につなげていくんだという強い想いで進め、現在に至ります。

ここまでは、横濱うかい亭料理長時代に鶴飼貞男さんに本物の料理長に育てて頂いた時間です。それとあるの中学の時、高校の時に経験した挫折感。その時の悔しさが後々の自分を奮い立たせてきたし、必要な事だったはず。これからも忘れずにいたいと思います。専門学校に行く時にシャットアウトした友達とも、中学の野球部で一緒に頑張ってきた甲子園組とも、今では仲良くゴルフをしたり、食事をしたり、飲んだりしています。今や、私はみんなのうかいグループの予約係ですが。

私の原点

うかい亭は八王子・高尾で創業し、今年60周年を迎えます。昨年より創業第二章と位置付け、何ごにもチャレンジして100年後も輝くレストランであり続ける想いであります。

東京八王子西ロータリークラブでは、八王子に縁ある人達が、それぞれの知識やスキルを生かして、地域に貢献されています。私自身の得意分野である「食」をもつて、また八王子に育ててもらった会社としても、地域に根ざした貢献をしていきたいと考えています。

会員の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。本日はお時間をいただきました。誠にありがとうございます。

六月三祝

水無月（みなづき）

誕生花 薔薇 紫陽花
誕生石 真珠



会員誕生祝

村内道昌 8294
坂下幸夫 8294
石井昭久 7381
久保英生 6165
関和之 6061
神野俊也 6061
紺野俊也 6061

(還暦)

井上知巳 5656
池田勝二 5656
渡邊浩二 4954
馬場義和 4545
五十嵐勝平 4444
峯尾光成 4444
鈴木卓 4344
お誕生日を過ぎてからの入会
高橋由美子 51回

会員夫人誕生祝

森文子様
加藤明美様
久保由美子様
勝田佳代様
梅田祥子様
峯尾敬子様

結婚記念祝

三浦眞一 (金婚式) 50回
久保英生 4146
神邊博之 3841
橋本孝幸 3738
森本雅幸 2831
高橋由美子 2628
渡邊真行 2326
勝田真義 2262
山本俊明 1923
梅田友章 6回

(順不同 会員敬称略)

例会報告

第2776回●2024・6・7(金)

◆司会 角田昌己会場監督補佐



司会 / 角田会場監督補佐

◆開会点鐘 神辺和幸会長

◆君が代斉唱

◆Rソング 奉仕の理想

◆食事と交歓

◆百万ドルの食事

◆出席報告 ニニコニコ発表

◆顧問正裕出席・財務副委員長



出席報告 / ニニコニコ発表 / 顧問出席・財務副委員長

◆会長挨拶 神辺和幸会長
会員115名中68名出席。出席率62・96%。前々回5月24日の出席率は68・52%を78・15%に修正いたします。



会長挨拶 / 神辺和幸会長

*当クラブは今回の例会よりクールビズになりましたので私もノーネクタイでPタイのみを付けています。これは以前三浦眞一会員がガバナーをされた時にクラブで記念に作ったものです。新会員の方でご希望がございましたら事務局

に在庫がまだありますのでお分けすることが可能です。お声をかけを願っています。

*ついに6月になり2023-24年度も終盤に入つてまいりました。京王プラザホテル八王子さんのお昼の例会は今日が最後になります。一年間松本賢一会員には大変お世話になりました。ありがとうございます。

*4月の全員協議会で皆さんにお諮りし、次年度より年会費を上げさせていただくということをご承認いただきました。通常例会の料理は三千元で、本日のような百万ドルの食事は二千元です。食事代の値上げに関連し、何度か総料理長さんともお話をいたしまして、料理の質も良くなってほしいとお願ひしていますので、皆さま期待していただく。なお、京王プラザホテルさんのご厚意で、実際の値上げは来年1月以降で、それまでは据え置きしてくださることになりました。

*この百万ドルの食事ですが、新しく入られた方は何だろうとお思いかもありません。例会の食事を粗食にし、浮いた分のお金を奉仕事業に繋ぐという意味があります。

2023-24年度は基本的に月初を百万ドルの食事にしたので約10回行いました。1960-61年度にはロータリーアンが50万人に達し、1回の料理で2下

ル節約すると50万人分で百万ドル節約できるということ、マサチューセッツ州のロータリーアンが唱えて世界に広まり現在も行われています。

*ピアリストの伊澤さんがお休みをいただいております。ご入院が長引きそうということで今年度中の復帰は難しいらしいです。一日も早く復帰されていつもの慣れ親しんだピアノ演奏をお聞かせいただければと思っております。

*6月14日からの親睦旅行にご参加の方には、集合時間等の詳細について後日直前案内を配信いたしますので、よろしくお願ひいたします。



幹事報告 / 市川 隆幹事

◆幹事報告 市川 隆幹事

*親睦旅行の6月14日と、移動例会の21日はホテルフロント横の机にマイクアップ用紙を用意いたします。

*6月28日(金)18:00より今年度の最終夜間例会を開催いたします。のちほどご案内を配信いたしますので是非ご参加のほどよろしくお願ひいたします。

*本日各テーブルにガバナー月信6月号の4月末時点での会員数ページを配付いたしましたので、ご一読のほどよろしくお願ひいたします。

*メールボックスにロータリーの友6月号を配信いたしましたので、ご確認をお願いいたします。

*先日講演された斎藤佑樹様のサインがまだございますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願いいたします。

◆三祝
*会員誕生祝(順不同 会員敬称略)
村内道昌、坂下幸夫、石井昭久、久保英生、関和之、神辺和幸、紺野俊也(還暦)、井上知巳、池田勝、渡邊浩一、馬場義和、五十嵐勝平、峯尾光成、鈴木卓
お誕生日を過ぎてからのご入会
高橋由美子



会員令夫人誕生祝

*会員令夫人誕生祝
森 文子様、加藤明美様
久保由美子様、勝田佳代様
梅田祥子様、峯尾敬子様

*結婚記念祝(順不同 会員敬称略)
三浦眞一(金婚式)、久保英生、森崎博之、橋本孝、神辺和幸、鈴木雅徳、高橋由美子、渡辺範義、勝田真行、渡邊浩一、山本俊明、梅田友章

◆スピーカー紹介
田村 肇プログラム委員長
スピーカー 紺野俊也会員
テーマ「インニエーション・スピーチ」

◆閉会点鐘 神辺和幸会長

◆閉会点鐘 神辺和幸会長

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

https://www.hachioji-west-rc.org

会長 神辺和幸 幹事 市川 隆 広報委員会 浅川立憲 末木 博 船江栄次 及川久男 小林潔正 原 巖 平野智彦 天神敏博



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org